

北区引佐 棚田で稲刈り 1月から販売 静岡文化芸術大生

浜松市北区引佐町の久留女木の棚田で米作りに取り組む静岡文化芸術大(中区)の学生ら約20人が3日、棚田で稲刈りを行った。収穫した米は来年1月中旬から同大生協などで、「久留女木 棚田の恵」と名付けて販売



する。学生でつくる「引佐耕作隊」が休耕地だった棚田の一角を活用し

稲刈りに励む参加者。浜松市北区引佐町の久留女木の棚田

て米の栽培から販売まで体験する取り組みで、ことし3年目。参加者は黄金色に実った稲を鎌で次々に刈り取った。

今後、デザイン学部の学生の協力を得てパッケージを考案し商品化する。昨年から参加している中野七海さん(2年)は「市街地の人も買って食べて棚田を応援してほしい」と話した。